1952年5月30日第3種郵便物認可　©日本共産党中央委員会2026年

ロイター

総選挙 各党政策に見る 3
急増する「自社株買い」 4
◀ ミネアポリス米政権の弾圧抗議 6
科学 周期ゼミ計算式は？ 10
高さ52メートルDC計画に反発 11
党ポスター落書き被害 11
小説 6　囲碁・将棋 12　読者の広場 12
テレビ・ラジオ番組表 5

しんぶん赤旗
2026年（令和8年）1月25日 日曜日
日刊第26918号
■定価（税込み・送料別）日刊紙：月3497円 1部 130円
日曜版：月 990円 1部 250円
www.jcp.or.jp
日本共産党中央委員会 〒151−8586 東京都渋谷区千駄ケ谷4の26の7 電話03(3403)6111 ファクス03(5474)8358

2026総選挙
今言いたい 共闘の現場から

右への流れ止めるには

ぶれない政党応援

市民連合共同代表・新潟国際情報大教授
佐々木 寛さん

グローバルな規模で「ファシズム」が進行しており、日本でも選挙のたびに政治が右へ右へと動き、「戦争か平和か」という歴史的局面に立っています。そのような状況の中で「中道改革連合」が生まれました。

安保法制と原発再稼働容認で、立憲民主党が政治的、組織的に解体され、事実上公明党にのみ込まれているという共産党の見方に、一政治学者としてもほぼ賛成です。確かに立民側もある程度抵抗を試みたようですが、今後、立民のリベラル勢力が思うように事態を動かすのは難しいでしょう。斉藤鉄夫前公明党代表は「自民党とは敵対しない」「自民党との合流もある」とはっきり言っている。やや強い言葉で言えば、今後翼賛体制化が進む危険がある。それをなんとか押しとどめなければなりません。

安保法制廃止を求めて積み重ねてきた共闘との関係で言えば「市民連合も共産党もさようなら」ということになりかねず、そうなれば、私たちの構えも考え直さなければなりません。

いま政治家や有権者も高市政権のひどさ、極右性に不安を強め、「中道改革連合」は高市政権よりマシという議論も生まれています。それは首肯できますが、事態はそんなに甘くないかもしれません。今後の政治について、今冷静になって、私たちはどこに向かうべきかを考え、長期を見据えた議論をみんなで共有する必要があります。

今回は、一貫して平和主義に立脚し、ぶれない政党を応援すべきです。共産党はもちろんその筆頭です。みなさんきちんと見てほしい。今回の選挙でもし共産党が後退するようなら、今後日本全体の「ファシズム化」を止められなくなってしまうと非常に心配です。

共産党はアンカー

元市民の風共同代表・札幌学院大教授
川原 茂雄さん

高市（早苗）首相による解散は、自民党の議席を回復し大軍拡推進の政治的基盤をつくるためのもので、国民生活置き去りの自己都合解散です。

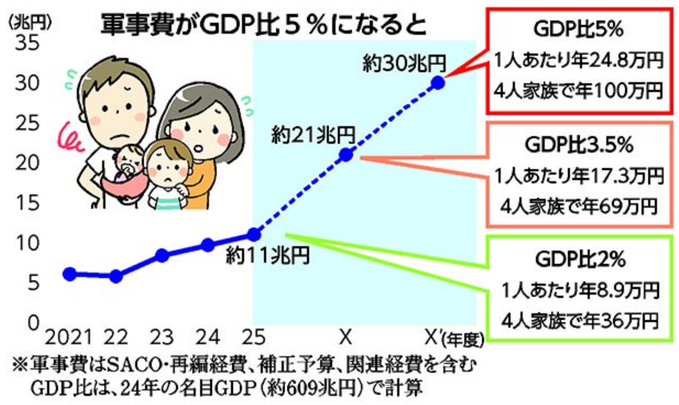
首相のクーデター的解散の動きに対し、公明党と立憲民主党が〝解党〟のうえ「中道改革連合」を結党しました。大問題は、政策の部分で原発再稼働を容認し、安保法制は合憲だとし、「立憲」の看板を降ろし、市民と野党の共闘の枠組みを壊してしまったことです。共闘に取り組んできた多くの市民を置き去りにした新党結成です。

「中道」と銘打ってはいますが、本当の意味のセンターではなく、極右と真ん中の中間であり、明らかに右にぶれた「中道」です。共闘に力を尽くしてきた共産党や社民党を切り捨て、言葉はきついが「第二自民党」になっている。政局で右に引っ張る力が強いなか、公明、立憲も右に引っぱられています。これでは高市首相の大軍拡を止める力にはならず、全体がさらに右に引っぱられる危険があります。

いま必要なのは、右に引っぱる力に対し、左に引っぱる、右への流れを引き戻すベクトルです。共産党は左にアンカー（いかり）を打つと言ってきました。原発反対、安保法制違憲という立場をぶれずに主張するその存在は非常に貴重で、右にぶれる動きを引き戻す市民、政党、団体の結集の中核になってほしい。いま共産党の役割は非常に大きくなっています。

今回の選挙で、私自身のスタンスもはっきりさせ、「ここはやはり共産党だ」といろんな場面で打ち出していきたい。

4人家族で年100万円負担も



※軍事費はSACO・再編経費、補正予算、関連経費を含む
GDP比は、24年の名目GDP（約609兆円）で計算

徹底解明 軍事費

GDP比5％ 米いいなり大軍拡で

4人家族で負担する軍事費は年間100万円。これは現実に起こりうる問題です。

政府は1976年、軍事費を「国内総生産（GDP）比1％」以内に抑える原則を確立し、これを長く維持してきました。ところが「すべての同盟国は軍事費をGDP比2％以上に上げるべきだ」という米政府の要求に応えるため、2022年の安保3文書で、23～27年度の5年間で、防衛省以外の予算も含めて一気に2倍化＝GDP比2％（約11兆円）に拡大すると決定しました。

「11兆円」とはどんな規模か。国民1人当たりでは約8万9500円に上ります。4人家族で年約36万円、月3万円を負担している計算です。防衛省は、20年度の国民1人当たりの軍事費は年約4万円という試算を公表。わずか数年で国民の軍事費負担は2倍以上になっています。

しかし、米国の要求はこれにとどまりません。米国防総省は昨年、日本に「GDP比3・5％以上」を打診したと報じられています。日本政府はすでに、GDP比2％以上の軍事費増を当然視しており、これに応じる構えです。

GDP比3・5％になればどうなるのか。24年の名目GDP（約609兆円）にあてはめると、21兆円を超える途方もない金額です。国民1人当たりでは年17万3000円。20年度と比べて実に4倍以上です。4人家族で年69万円、月約5万8000円となります。

発射試験をする12式地対艦誘導弾能力向上型（防衛装備庁提供）

さらに米国防総省が23日に公表した「国家防衛戦略」で、すべての同盟国に、軍事費のGDP比5％以上への増額を要求することを掲げました。5％になれば24年の名目GDPで換算すると30兆円を超えます。国民1人当たり年24万8000円、4人家族で年約100万円にも達します。もはや戦時経済、軍事独裁政権のような財政構造になってしまいます。

米国の理不尽な要求に屈し、これだけの負担を国民に押しつけようとしている。その是非が、総選挙で問われます。▼関連2面

北陸・東海など大雪警戒

気象庁 きょうまで強い冬型

北海道から中国地方にかけて24日も日本海側を中心に雪が降り、北陸で大雪になりました。福井県大野市では正午までの6時間降雪量が35センチを超える所があり、気象庁は「顕著な大雪に関する気象情報」を出して交通の障害に警戒を呼び掛けました。強い冬型の気圧配置は25日まで続き、特に北陸と東海で降雪が急増する恐れがあるといいます。

24日午後6時までの24時間降雪量は、岐阜県郡上市で82センチ、大野市・九頭竜で70センチ、新潟県阿賀町で46センチに上りました。岐阜、福井両県では同日夕、東海北陸道や中部縦貫道の一部区間が通行止めとなりました。

25日午後6時までの24時間予想降雪量は多い所で、北陸80センチ、関東甲信と東海70センチ、東北と近畿60センチ、北海道50センチ。その後、26日午後6時までの同降雪量は、東北50センチ、北海道と北陸40センチ、関東甲信30センチ、近畿15センチ。

こんなときこそ共産党

東京・大田 小池氏・谷川候補訴え

日本共産党の小池晃書記局長は24日、東京都大田区のJR蒲田駅前で、目前に迫った総選挙（27日公示、2月8日投票）での党躍進を訴えました。「日本の政治が右へ右へとなびくなか、みんな右ならえの政治でいいのか。こんなときこそ日本共産党です。暮らしでも平和でも人権と民主主義でも、ぶれずに働く共産党を比例で広げて」と呼びかけました。

小池氏は、厚生労働省が発表した2026年度の公的年金の支給額がマクロ経済スライドで物価上昇よりも抑制され、4年連続で目減りすると指摘。自民、維新と公明各党が合意した医療費4兆円削減計画など暮らし切り捨ての一方、トランプ米政権いいなりの大軍拡に暴走する高市自維政権を厳しく批判しました。

一方、国民民主党は与党入りを狙い、参政党は「もっと右へ」とあおっていると指摘。立憲民主、公明両党による中道改革連合は、安保法制を合憲とするなど自民と対決する立場を失ったとして「暴走を止めることができるのは、自民党政治と正面から対決する日本共産党」「こんなときこそ国会に共産党の議席が必要だ」と力を込めました。

比例東京ブロックでは前回衆院選で1議席にとどまったと述べ「今度こそ比例は共産党と広げ、必ず2議席を勝ちとろう」と訴えました。

衆院東京比例の谷川智行候補（東京4区重複）は「命を守る議席」として4区での勝利とともに比例での党躍進を訴え。松井かな子東京26区候補が決意表明し、写真家の若井玲子さんが応援のスピーチをしました。

小池、谷川、松井の3氏に声援や拍手を送る人たち＝24日、東京都大田区

トランプ米政権「国家防衛戦略」

同盟国は「GDP比5％超」

【ワシントン＝洞口昇幸】トランプ米政権（共和党）は23日、国防政策の指針となる「国家防衛戦略（NDS）」を発表しました。全ての同盟国に対して軍事費・関連費を対国内総生産（GDP）比で5％以上とするよう要求しました。▼関連6面

NDSの発表は民主党のバイデン前政権下の2022年以来。過去の戦略では「中国に焦点を当てた戦略」を押し出しましたが、本土防衛が最優先と位置付けました。

同盟国との「責任分担」として、北大西洋条約機構（NATO）で昨年6月に合意した軍事費3・5％、安全保障関連費1・5％の計5％を「新たな国際基準」と位置付け、世界中の同盟国や協力国に「この基準を達成するよう」要求しました。

インド太平洋地域での中国抑止を引き続き重視する姿勢を示し、「同盟国や協力国の貢献が極めて重要だ」と強調しました。

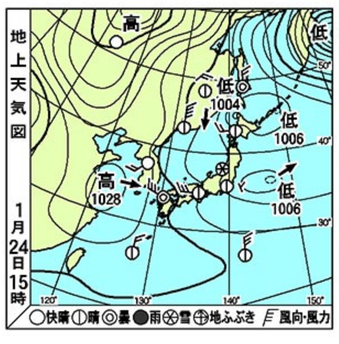
党首討論
◇あす 田村委員長
日本記者クラブ（NHKテレビ＝後1・05）
報道ステーション（テレビ朝日＝後9・54）
news zero（日本テレビ＝後11・0）
news23（TBSテレビ＝後11・0）

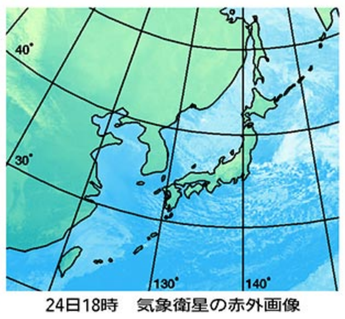
テレビ出演
◇きょう 田村委員長
「日曜報道THE PRIME」フジテレビ＝午前7時30分から

NHK出演
◇きょう 山添政策委員長
「日曜討論」NHKテレビ、ラジオ第1＝午前9時から

潮流

学校で生徒が別の生徒に暴力を振るっている動画がSNSで拡散され、各地で問題になっています。暴力自体が許されませんが、その光景がネット上で公表されるという事態は大きな問題です▼SNSを巡っては、子どもたちが面識のない人物と知り合いになり、性犯罪の被害にあうなどの事件も起きています。犯罪に巻き込まれなくとも、わいせつな画像や暴力的な表現、真偽のはっきりしない情報に、子どもが日常的にさらされている現状は何とかしなければなりません▼オーストラリアでは昨年12月、16歳未満のSNS利用を禁止する法律が施行されました。運営企業は16歳未満のアカウントの凍結や削除をしています▼しかし禁止をすり抜けようとする子どもも少なくないといいます。子どもたちからは「友達とつながったり、自己を表現する手段を奪うのはやり過ぎ」などの声があがっていると報じられています▼日本も批准している子どもの権利条約では、子どもが意見を表明する権利を尊重しています。子どもたちの中には意見表明のためにSNSを有効に使っている人もいます。人前で話すことは苦手だけれども、SNSでなら意見を伝えられるという子もいます▼同時に権利条約は子どもの命を守り、その成長を保障することも定めています。子どもの権利を守るためにSNSをどう扱うか、何が子どもの「最善の利益」なのか幅広い視点からの議論が必要です。そのさいは当然、子どもたち自身の意見を丁寧に聴くべきでしょう。〈26・1・25〉





24日18時　気象衛星の赤外画像

強い冬型の気圧配置。北海道は北部と南西部を中心に雪でふぶく所も。本州の日本海側は雪で大雪も。本州の太平洋側と四国、九州はおおむね晴れますが、一部で雪。沖縄は大体晴れます。

	午前	午後	夜	降水%	気温	26(月)	27(火)	28(水)
佐賀	●	●	☂	10	8/1	●	☂	●
長崎	●	●	☂	10	8/4	●	☂	●
熊本	●	●	☂	0	9/1	●	☂	●
大分	●	●	☂	0	8/3	●	☂	●
宮崎	●	●	☂	0	12/3	●	☂	●
鹿児島	●	●	☂	10	12/5	●	☂	●
那覇	●	●	☂	0	20/14	●	☂	●
松江	○	○	●	60	4/1	☂	☂	☂
山口	●	●	☂	20	6/6	●	●	●
徳島	●	●	●	10	8/1	●	●	●
高松	●	●	☂	20	7/1	●	●	●
松山	●	●	☂	10	7/2	●	●	●
高知	●	●	☂	10	9/1	●	●	●
福岡	●	●	☂	20	7/4	●	●	●
大阪	●	●	☂	30	7/2	●	●	●
奈良	●	●	☂	30	6/6	●	●	●
和歌山	●	●	●	20	8/2	●	●	●
神戸	●	●	●	30	6/1	●	●	●
岡山	●	●	●	20	8/−1	●	●	●
広島	●	●	☂	20	7/6	●	●	●
鳥取	●	●	●	90	7/6	☂	☂	☂
長野	●	●	●	60	9/−4	●	●	●
静岡	●	●	☂	10	11/1	●	●	●
名古屋	●	●	☂	20	7/6	●	●	●
岐阜	●	●	☂	30	6/1	●	●	●
津	●	●	●	30	8/6	●	●	●
大津	●	●	●	60	5/1	●	●	●
京都	●	●	●	60	5/6	●	●	●
宇都宮	●	●	☂	0	6/−3	●	●	●
前橋	●	●	☂	10	6/2	●	●	●
さいたま	●	●	☂	0	8/3	●	●	●
千葉	●	●	☂	10	8/1	●	●	●
東京	●	●	☂	20	9/1	●	●	●
横浜	●	●	☂	10	8/2	●	●	●
甲府	●	●	☂	10	7/−3	●	●	●
山形	○	○	●	70	1/−5	☂	☂	☂
福島	●	●	●	20	3/−3	●	●	●
新潟	●	●	●	70	1/−1	☂	☂	☂
富山	●	●	●	80	2/1	☂	☂	☂
金沢	●	●	●	80	2/6	☂	☂	☂
福井	●	●	●	80	1/−1	☂	☂	☂
水戸	●	●	☂	10	7/−3	●	●	●
札幌	●	●	●	60	8/−8	●	●	●
釧路	●	●	●	20	2/−13	●	●	●
青森	●	●	●	70	3/−5	●	●	●
盛岡	●	●	☂	30	2/−7	●	●	●
仙台	●	●	☂	20	3/−2	●	●	●
秋田	●	●	●	70	1/−3	●	●	●

○のち ◐一時・時々 気温上：最高 下：最低
日本気象協会：17時